

**落合シゲエさん100歳のお祝い
長寿を祝福に町長が訪問**

7月12日、町長が100歳を迎えた落合シゲエさん宅(赤池)を訪れ、百寿を祝いました。落合さんは明治45年生まれで、介護サービスも受けていないほどの健康体。長寿の秘けつを「小さなことにこだわらないこと、朝夕般若心経を読むこと」と話していました。落合さんは赤池13行政区からも記念品が贈られ、「みんなから祝福されて嬉しい」と、長寿を喜んでいました。



↑町長からの花束をはにかみながら受け取る落合さん。100歳おめでとうございます。

↓時折ユーモアを交えながら、個性や互いを尊重することの大切さを訴えた乙武さん。



**乙武洋匡さんが福智町に
一人ひとりの個性が輝く町づくりを**

社会福祉法人「豊徳会」主催の講演会が6月30日に地域交流センターで行われました。講師にベストセラーとなった「五体不満足」の著者、乙武洋匡さんを招待。乙武さんは「人はジグソーパズルと同じ。ピースを合わせれば美しい絵画や写真になるように、人も互いを認め合うことで、住みよい社会の実現につながる」と語り、約450人の参加者に個性の大切さを唱えました。

↓後世に緑の森を残すため、自宅で育てたどんぐりの苗を丁寧に植樹した参加者たち。



**奥池公園にどんぐりの苗木を植樹
企業と地域が協力した緑化運動**

どんぐりの苗木を植えて地域を緑化する「どんぐりの森づくり」が6月23日に上水道用の池がある奥池公園(弁城)で行われました。6回目を迎えた衛生・住宅設備機器メーカーのTOTO社員と町民が協力して行うこの取り組みに、今回は約250人が参加。植樹や清掃などの緑化活動で汗を流した後は、感謝の気持ちを込め町民による猪鍋が振る舞われました。

**第62回「社会を明るくする運動」
犯罪のない明るい社会を目指して**

田川地区の保護司による「社会を明るくする運動」が7月9日に行われました。この運動は犯罪や非行の防止と犯罪を犯した人たちの更正について理解を深め、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な活動。保護司は立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくこと、犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりの大切さを住民に訴えました。



↑保護司たちは啓発セットを手渡しで配布して、町民に理解と協力を呼びかけました。

↓「行け〜!」と全校児童の声援が響き渡る体育館。熱いエールを背に、一心不乱にゴールを目指す出場者たち。



**伊方小ぞうきんがけ選手権大会
床をピカピカよ〜いどん!**

子どもたちの足腰を鍛えることを目的に、毎日の掃除時間だけでなく、体育の時間にもぞうきんがけを行っている伊方小学校で、7月20日にぞうきんがけ選手権大会が行われました。この大会は、児童会のスポーツ委員会が「ぞうきんがけをもっと好きになってもらおう」と、子どもたちが企画運営しました。低学年(15m)と高学年(20m)の部に分かれ、1チーム4人のリレー方式で競い合い、予選から決勝まで総勢192人が競技に参加。鍛錬と掃除の合わさったユニークなこの大会は、大盛況で幕を閉じました。

**町民一人ひとりの人権意識向上を願い
同和問題啓発強調月間を町民へアピール**

町長をはじめ約50人が同和問題への正しい理解と解決を訴え、町内5か所での街頭啓発や34社の企業訪問を行いました。この活動は福岡県と県内の市町村が取り組む「同和問題啓発強調月間」の一環で、町民一人ひとりに啓発チラシとタオルを手渡しで配布。行政や住民が力を合わせ、いまだ根深く残る同和問題への意識向上と啓発行事への参加を求めました。



↑一日も早い同和問題解決を願い、スーパー川食(赤池)で街頭啓発を行う浦田町長。

↓町内各地で約500枚の飲酒運転撲滅啓発チラシを配る商工会青年部のメンバー。



**福智町商工会青年部による地域貢献事業
力を合わせて飲酒運転の根絶へ**

福智町商工会青年部が6月12日に町内で飲酒運転撲滅運動を実施しました。この活動は、全国商工会青年部の統一活動で、昨年の大震災で着目された地域における「絆」を再確認し、今後もつながりを深めることを目的とした地域貢献事業のひとつ。部長の吉田広志さんは「福智町を拠点として飲酒運転をなくしていきたい」と、飲酒運転ゼロを訴えていました。